



八代市立
東陽中学校
学校だより

東陽の旋風

かぜ
～つなぐ～

令和7年9月12日(金)
NO. 21
文責：御寄 文男

石工の文化に学ぶ

9月11日(木)と12日(金)の2日間にわたり、石匠館館長様をお招きし、「日本遺産中学生ボランティアガイド」の生徒作成資料や発表内容、クイズに対して、追加修正と助言をいただきました。発表ではとても緊張感が伝わりました。館長さんと話をしていたら、「大人に対してのガイド(プレゼン)を、若い時から行うことはとてもいいことです。場慣れは大切ですね！将来きっと役に立つと思います」と語られていました。帰りの会のあと、体育館通路で何人かの生徒が、「嘉永7年は1854年よね！」と、復習している声が聞こえてきて、「ちゃんとつながっている」と思い、嬉しくなりました。

2日目は、館長さん自らが発表原稿を使用され、みんなに向けてガイドしていただき、いつもとは逆の立場で聞くことで、たくさんの発見があったようです。

早速、9月14日(日)には、いよいよ1年生がデビューします。よろしくお願いします。



予期せぬ大雨に！

9月10日(水)の早朝、「ドーン」と大きな音に目を覚まし、カーテンを開けると雷の閃光と大粒の雨が！テレビをつけると、長崎県島原半島から天草諸島・宇土半島にかけて線状降水帯発生のニュースを伝えていました。雨雲レーダーを見ると、激しい雨は北東に移動する予報。急いで支度し、家を出るも車に乗るまでにびしょ濡れとなり、車中で着替えることに。少し遅れて出発して、雨も弱まりひと安心していると、雲行きが怪しく雨も強くなり、どの車もヘッドライトを照らすほど暗くなりました。いったん、コンビニの駐車場で雨雲レーダーを見ると状況が変わり、宇城・八代地域でも大雨が降るような予報に変わってきたのです。雨への注意喚起をしようと、安心安全メールを学校から出してもらうにも起動せず、他の端末も同様に通信不通で、結局、送信できたのが、7時30分を過ぎてからでした。

今回、突然の雷雨で心配されましたが、保護者の方の適切なご判断のもと、生徒も無事に登校し、予定されていた**前期期末考査**やその後の授業、給食も通常通り行うことができました。あらためて自然災害への備えは大切であると実感したところです。

本日、「**悪天候の予報に伴う対応について**」の文書を配布しておりますので、ご一読ください。

前期期末考査



上から1年・2年・3年

～ご意見ご感想等がありましたら、ぜひお寄せください

